菜種栽培からBDF精製利用に至る
地域内資源循環

菜の花エコプロジェクト

特　徴

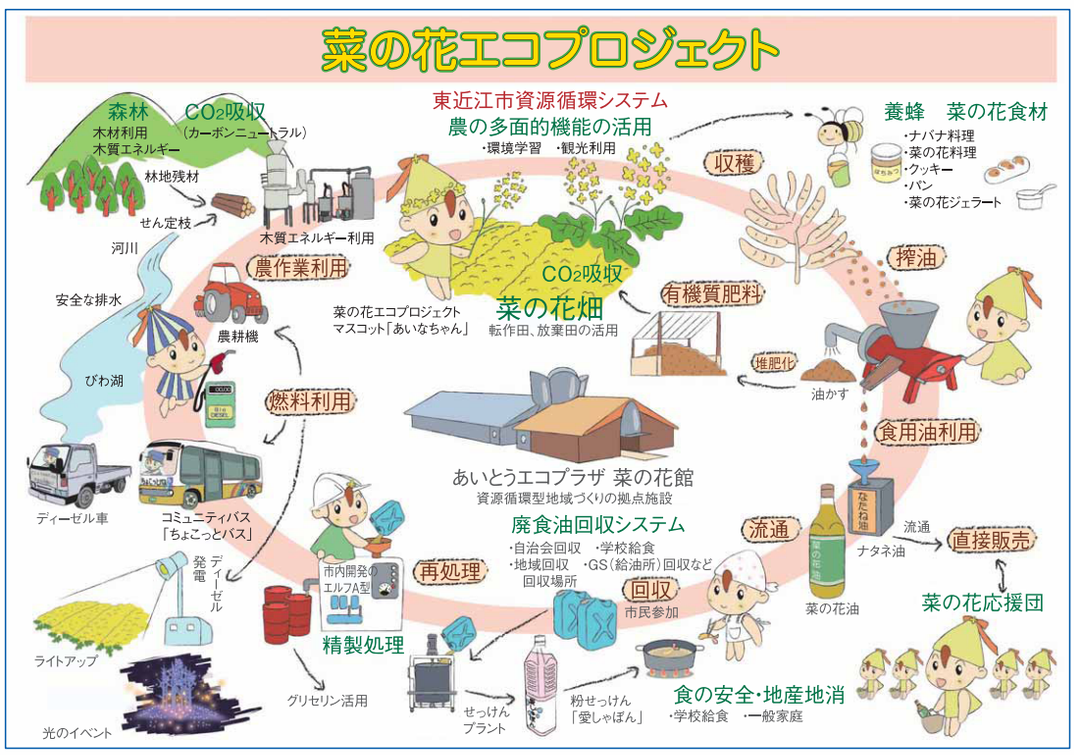
- 地域から出る廃食油を回収し、バイオディーゼル燃料として利用することで地球温暖化防止に貢献
- 菜種栽培から燃料化まで地域内でエネルギーの地産地消を図る取り組み
- 資源循環の地域モデルとして全国各地に普及

概　要（技術の原理･動作等）

菜の花エコプロジェクトは、琵琶湖の水質を守る「せっけん運動」が原点にある。廃食油を回収してせっけんを作り、それを使うことで水質の浄化を図る活動が、バイオ燃料への転換、菜種栽培へと発展していった。

転作田で菜種を栽培し、搾油した油を地域特産品として販売。家庭や学校給食で使用した食用油を回収し、せっけんやバイオディーゼル燃料（BDF）を製造。BDF は軽油代替燃料として車や農耕機、林業機械、発電機等に利用する。

地域の中で資源が循環する取り組みである。



菜の花循環図

導入実績

- 1996年にBDF精製プラントを設置。1998年から菜種栽培をはじめ、菜の花エコプロジェクトがスタート。現在全国の都道府県に広がっている。
- 東近江市内で年間約30,000リットルの廃食油を回収し、15,000リットルの燃料を精製し利用。約39トンの二酸化炭素削減に貢献。

効　果

◎循環の過程で、農業振興、観光、教育、コミュニティビジネス、市民参加などさまざまな波及効果が生まれている。

滋賀県東近江市　あいとうエコプラザ菜の花館（指定管理者：NPO法人愛のまちエコ倶楽部）　〒527-0162 滋賀県東近江市妹町70

● TEL / 0749-46-8100　● FAX / 0749-46-8288　● E-Mail / HPの「お問い合わせ」より送信ください　● http://ai-eco.com/

※留意事項：本書は環境・エネルギー問題の解決のお役に立てると考えられる事例（技術･製品等）を紹介するものであり、これらについて移転・販売することを保証するものではありません。